

稲作・麦作

平成28年度 稲作・麦作総合改善研修会を開催しました

本年度も、米麦のさらなる安定生産・品質向上を図る目的として、3月3日(金)にホテルモン・トレエーデルホフ札幌(札幌市)にて研修会を開催し、全道各地の生産者・農協や関係機関・団体などから220名の参加をいただき、米麦共励会の表彰式をはじめ、生産技術等に関する優良事例発表および外部講師による特別講演を行いました。

表彰式では、最優秀賞を受賞された8名(個人・集団)の方々に北海道知事賞と北海道米麦改良協会会長賞を授与し、受賞者を代表して、稲作は今野氏(旭川市 JAあさひかわ特別栽培米部会副会長)、麦作では干場氏(岩見沢市 有岐阜コントラクター 代表取締役)より日ごろの良質米麦生産に向けた取り組みや、経営状況などについて優良事例の発表をいただきました。

特別講演では、半田氏(一般財団法人 日本気象協会北海道支社 気象予報士)に「北海道の気候変化 これまでとこれから」～農業への影響も含めて～と題して講演いただき、昨夏の台風発生や今後の北海道への台風来襲の可能性、また近未来における天候予測などについてお話しいただき、今後の良質米麦生産に向けてたいへん参考になりました。



開会挨拶



事例発表 JA あさひかわ特別栽培米部会



知事賞杉野ご夫妻(美唄)



半田気象予報士